

1DAY インターシップ

連載漫画家アトリエ見学 森茶先生 特別授業

12月/実施
14日

実際に世界を「見て」「聞いて」「感じて」ほしい。そんな思いから、教室を飛び出して現場を見に行くフィールドワーク型の1DAYインターシップ授業を実施しました。

今回は、小学館が発行する月刊コロコロコミックにて「ゾイドワイルド」を連載中の森茶先生のアトリエを訪問し、プロの漫画家の生活に触れる特別授業を行いました。12月14日に本校の学生が「ゾイドワイルド」の作者、森茶先生のアトリエを訪問。授業では、先生の作業部屋に案内してもらい、先生が学生たちの質問に丁寧に答えてくれました。

「趣味が仕事になるとはどのようなことか」「マンガとイラストの違い」などについて、率直な意見を述べつつも、マンガ家の魅力を語ってくださいました。全員が質問できるような和気藹々とした空気の中、アシスタントの作業スペースへと移動し、作業を進めるアシスタントと交流しながら、学生たちは、職業としてのマンガ家を目指すことへのイメージを形成する授業となりました。



森茶

神奈川県出身。

受賞歴

OMEGA BLOSSUM(GET THE SUN 新人賞 第1回 準グランプリ)

連載

・BULLET ARMORS(『ゲッサン』2010年7月号 - 2012年11月号)
・ゾイドワイルド(『月刊コロコロコミック』2018年5月号 - 2019年6月号)
・ゾイドワイルド2(『月刊コロコロコミック』2019年9月号 - 2020年11月号)
・ゾイドワイルド2+(『月刊コロコロコミック』2021年1月号 - 連載中)

読切

おとめジェノサイド(『ゲッサン』2009年8月号) - プロデビュー作。
ヒーロー抹殺 @ れいゆ(『ゲッサン』2009年10月号)
BULLET ARMer(『ゲッサン』2010年1月号)



専門課程 ゼミ授業

エデュトリアルデザイナー 坂口 雅仁先生 特別授業

7月/実施
10日

雑誌や販促物のデザインを手掛ける坂口雅仁先生によるエデュトリアルデザイン授業を実施しました。

特別授業では先生がこれまでに関わってきた雑誌の編集、またデザインの仕事を通してエデュトリアルデザインというものが何かを知る大切な授業となりました。雑誌の紙面が完成するまでの工程を通してデザイナーの役割を学びました。

坂口先生は雑誌ゼクシーの販促物、特集ページの全てをデザインされていることから、対象の読者に対してのアプローチやイメージ戦略、誌面のアイキャッチ、文字の扱い方、色、印刷などについて詳しく教わることができました。将来、デザイナーを目指す学生達がデザインの現場を知ることができる大切な特別授業です。

ゼミ授業 WEB デザイン 対策ゼミ

専門課程デザイン専攻では、パソコン、スマートフォンの普及によって必要不可欠な存在となりつつあるWEB デザインの授業も行っていきます。特別講師はWEB デザイナーとして多くのホームページ制作に携わっている丸山裕之先生です。

この授業は就職対策の一環として行われるだけでなく、フィンアート専攻の学生にとっては自分のホームページを作成し、作品を販売することができるようになるための専攻を超えた実践的な授業です。



坂口 雅仁

1990年生まれ
武蔵野美術大学造形学部
基礎デザイン学科卒業
2013年 株式会社スタジオオブ入社
2016年 武蔵野美術大学造形学部
基礎デザイン学科助手
現在、デザイナーとして活躍している。

・講談社「Rikejo」: ページレイアウト JALブランドコミュニケーション
・「AGORA」: 機内・会員誌のページレイアウト
・主婦と生活社「CHANTO」: 特集ページレイアウト・車内広告レイアウト
・講談社「LeaLeaマガジン」: 特集ページレイアウト ダイアモンド・ビッグ社
・晋遊舎「株完全ガイドシリーズ」: 特集ページレイアウト Editorial

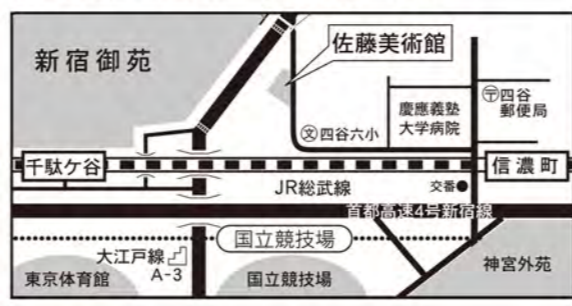


武蔵野学芸専門学校2021卒業制作展 開催!!

MUSASHINOGAKUGEI Graduation Works Exhibition 2021

武蔵野学芸専門学校2021卒業制作展

(会場) 公益財団法人 佐藤美術館 4階
(会期) 2021/3/2(火)~3/14(日)
(開館時間) 10:00~17:00
(休館日) 月曜日 (入場料) 無料



本校の専門生2年間、高等課程3年間の成果発表として「武蔵野学芸専門学校 2021卒業制作展」を開催します。毎年、東京芸術劇場にて卒業展示を開催していましたが、武蔵野学芸専門学校2号館の竣工を機に、今年度から、佐藤美術館4階にて展覧会を開催することとなりました。

また、佐藤美術館5階では、「ART Ambitious Exhibition」(武蔵野学芸専門学校 OB 展)を同時開催しています。両課程の卒業生、OBによる展示作品は、油絵、日本画、デザイン、立体などの様々なジャンルの力作を展示しております。お近くにお立ち寄りの際は是非とも、ご高覧くださいませようよろしくお願いいたします。



「コレクション」 郭 国隆



「鱷のリズム」 洪 旭韻



「お月さまにとどけ」 鳥巢 未聖



2021年度美大進学速報 (補欠合格、過年度生を含む)

京都市立芸術大学 大学院	1名合格	東京造形大学 大学院	1名合格	京都精華大学 学部	1名合格
沖縄県立芸術大学 大学院	1名合格	東京造形大学 学部	1名合格	愛知県立芸術大学 大学院	1名合格
東京学芸大学 大学院	1名合格	女子美術大学 学部	2名合格	日本大学 大学院芸術研究科	1名合格
武蔵野美術大学 大学院	1名合格	東京造形大学 大学院	1名合格	日本大学 芸術学部	1名合格
武蔵野美術大学 学部	12名合格	東京工芸大学 学部	2名合格		
多摩美術大学 大学院	1名合格	京都芸術大学 学部	2名合格		
多摩美術大学 学部	16名合格	京都精華大学 大学院	1名合格		

MUSASHINO GAKUGEI COLLEGE of ART 武蔵野学芸専門学校

【本館】
180-0006 東京都武蔵野市中町 1-27-2
【2号館】
180-0006 東京都武蔵野市中町 1-33-7
Web : http://musagei.jp
TEL : 0422-50-1177
FAX : 0422-50-1180
Mail : Info@musagei.jp



MUSASHINO GAKUGEI COLLEGE of ART 武蔵野学芸専門学校

専門課程・高等課程

NEWS LETTER

2020年
春直前号

TOP NEWS

日本画家

中原 亜梨沙先生 特別講演会 「自分が何者か知ること」

10月/実施
17日

武蔵野学芸専門学校では、中原亜梨沙先生をはじめとするアーティストと連携したアート教育を展開しています。今年度も多くのアーティストやデザイナー、映画監督、漫画家などによる特別授業を実施しました。

日本画家 中原亜梨沙先生の特別講演会では「自分が何者か知ること」をテーマに自らの幼少期から高校生活、大学受験、日本画家として活躍するまでの中で「他者との比較」と「自分への探求」を通じてたどり着いた「自分が何者か知ること」を語っていただきました。

本校ではアート教育がこれからの社会を背負っていく生徒、学生にとって必要不可欠なものであると考えています。これは近年、欧米諸国の教育に取り入れられているSTEAM教育でも実証されています。これは、知る(探求)とつくる(創造)のサイクルを生み出す分野の横断的な学びです。この横断的な学びによって様々な課題を見つけ、クリエイティブな発想で問題解決を創造、実現することができる領域です。このようなデザイン思考を持った人材を育成するために「観察する」「考える」「構成する」「表現する」の4つプロセスを大切にしながら特徴ある授業を本校で展開しています。



中原 亜梨沙

沖縄生まれ埼玉育ち。

・埼玉県立大宮光陵高等学校美術科に入学。
・2005年東京藝術大学美術学部絵画科 日本画専攻入学。
・2011年東京藝術大学大学院美術研究科 修士課程日本画専攻修了。
大学卒業後、本格的に作家活動を開始。現在では都内を中心に個展やグループ展で活動。



MUSAGEI EVENT

武蔵野学芸専門学校 学校文化祭「瑞花祭」

10月/実施
17日

今年度も無事に文化祭を開催しました。コロナ禍ということもあり、感染拡大予防の観点から、大きな企画イベントなどはできませんでしたが、専門課程・高等課程作品展示、美術体験ミニイベントを実施しました。



◎アート特別授業

人気漫画家
山口つばさ先生 特別授業

6月/10日 11月/9日
9月/24日 実施

人気漫画「ブルーピリオド」作者 山口つばさ氏が本校において、年3回の特別授業を実施しました。特別授業では、自身が東京芸術大学絵画科油画専攻出身であることも踏まえながら、世界も認める日本の漫画を通して、美術とデザインの可能性を紐解きながら、新しい視点からアプローチを行う特別授業です。

この授業では生徒たちが、漫画を楽しむだけでなく漫画の中に隠された美術とデザインの可能性を感じながら、考える力を身につけ、表現できるようになるために山口つばさ氏が1年間にわたり、生徒、学生たちと関わっていく教育プログラムとなりました。



学生作品



◎デザイン特別授業

株式会社ポーネルド デザイナー
勝見 泰里先生 特別授業

8月/7日 実施

子どものためのおもちゃ、遊び場を提供するポーネルドのデザイナーが本校で特別授業を実施しました。ポーネルドデザイナーの勝見泰里先生が「ポーネルド会社紹介」「インハウスデザイナーの仕事について」「デザインをする上で大切にしていること」そして「仕事の楽しいところ」を解説してくれました。特に、勝見先生がデザインを考えると大切にしている「あそびを子どもと一緒に楽しめる。」「子どもの視点になれる。」といった子どもからの視点と子どもを取り巻く環境、ブランド価値、ポーネルドが企業ブランドを大切にしていることが伝わる講義でした。子どもたちのためにポーネルドがどのような企業努力しているのかを知ることで、デザインが社会に対して、また、多くの人々にどんな貢献ができるのか今一度考えさせられた授業です。



◎対談特集

立島恵 X 若手アーティストによる
アートトーク 特別授業

授業は、本校校長の三上慎之介と佐藤美術館(新宿区)の立島学芸部長のナビゲーションによって2020年7月17日と10月30日の2回にわたり行われました。

メインナビゲーターの立島恵氏は佐藤美術館が主催する佐藤国際文化育英財団による奨学金プログラムを通じて多くの若手アーティストを育成してこられました。

今回、対談いただいた玉井祥子氏、本村綾氏も同プログラムの奨学生。特別授業では、立島氏と両氏の作品との出会いからはじまりました。玉井氏は、東京芸術大学音楽学部を卒業した後、和紙と墨、ペンなどを用いた表現技法に出会ったことで清新な墨の表現にたどり着いた異色の経歴と経験を語ってくれました。そして、本村氏は高校から大学時代、現在に至るまでの軌跡を通して、学校で学んだことが将来どのように活かされていくのか話していただきました。

今回、ナビゲーター役をつとめた立島恵氏は、本校に付属する「武蔵野学芸美術教育研究所」の所長も兼任しています。研究所では、立島恵氏をはじめとした多くの有識者、教員が参画し、美術、芸術教育を通じ、感性を育み個性を活かす教育を広く社会に普及させ、次世代の美術、芸術人材の育成と支援を目的として活動しています。

玉井 祥子

1987年 高知県生まれ 広島・横浜育ち
2011年 東京芸術大学 音楽学部 音楽環境創造科 卒業
2013年 安宅賞、佐藤国際文化育英財団第23期奨学生
2014年 東京芸術大学大学院 美術研究科 描画装飾(中島千波)研究室 修士課程 修了
2017-18年 平成29年度新進芸術家海外研修員 / 日米芸術家交換計画米国画派遺芸術家(NY)、文化庁

個展

2015年-19年まで NYにて制作
2019年「CYOKO TAMAI: New Works on Paper」(online) Ronin Gallery, NY
2017年「CYOKO TAMAI: Be Floating」羅画廊, 東京
2015年「CYOKO TAMAI: Against Gravity」Ronin Gallery, NY
(In conjunction with Asia Contemporary Art Week, NY)
2014年「CYOKO TAMAI: Floating paintings」Ronin Gallery, NY

本村 綾

1993年 東京生まれ
2017年 多摩美術大学絵画学科油画専攻卒業
2019年 東京芸術大学大学院美術研究科絵画専攻 版画研究分野修士課程修了

入選・受賞歴

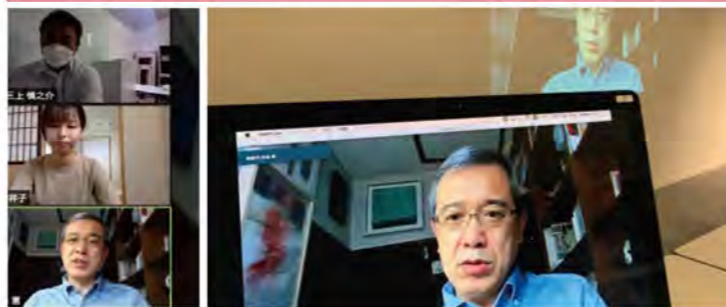
2020年 HB Gallery File Competition Vol.30 大賞(日下潤一賞)
2019年 第14回 TAGBOAT AWARD 入選
2018年 第13回 藝大アートプラザ大賞 準大賞
2018年 第7回 FEI PRINT AWARD 入選
2018年 第6回 東京国際ミニプリント・トリエンナーレ 2018 入選
2020年-2014年 三菱商事アート・ゲート・プログラム 入選

立島 恵

経歴
財団法人工芸学会・麻布美術工芸館勤務を経て1990年佐藤美術館設立時より学芸員として運営に参加。佐藤国際文化育英財団の奨学金プログラムの構築、若い作家に対する支援活動、展覧会等を行い今日に至る。

現在

・公益財団法人佐藤国際文化育英財団 理事
・公益財団法人佐藤国際文化育英財団奨学金 選考委員
・佐藤美術館 学芸部長
・武蔵野学芸美術教育研究所 所長
・学校法人杉並学院 評議員
・日経日本画大賞 推薦委員
・デビュー美術新人賞 選考委員
・三菱商事アートゲートプログラム 選考委員
・寺田アートアワード 選考委員
・美術の窓「お悩み解決 立島恵に聞け!」連載 他



7月/17日 実施

「依代と鎮魂」



10月/30日 実施

(左)「洗濯ハサミ」2019年
(中)「一人の時間」2019年
(右)「スイッチ」2019年

◎教育連携

東京芸術大学 連携授業
ガラス、金工、七宝などの特別授業

本校高等課程と東京芸術大学との教育連携は2016年度から始まり、本年度で5年目を迎えます。今年度は残念ながらコロナ禍の影響により、授業の開催が見送りましたが、例年、東京芸術大学取手校地の宿泊施設に2泊3日の泊まりがけで作品制作を行います。体験できる技法はガラス、金属(音楽彫刻、鋳造)、七宝、紙漉き、版画などです。

生徒たちは自分たちが体験したい素材を選び、東京芸術大学の教授に実際に教わる事ができる特別なイベントです。制作最終日は、先生方から貴重なアドバイスをもらう事ができる講評会を行います。



多摩美術大学 連携授業
栗原 一成教授による特別授業

10月/12日 実施

2016年度からスタートしている「武蔵野学芸 × 多摩美術 教育連携」も今年で5年目を迎えました。

多摩美術大学が実施する教育連携授業では、実際に絵画学科油絵専攻の栗原一成教授に來校していただき、本校のために課題を出題していただいています。

課題説明、授業指導、講評会までを実施する特別授業は、学生、生徒たちの新しい創造と挑戦に刺激を与えてくれるイベントです。



◎デザイン特別授業

大日本印刷株式会社 デザイナー
太田 浩永先生 特別授業

12月/7日 実施

12月7日に大日本印刷株式会社の太田浩永先生による高等課程と専門課程合同特別授業を実施しました。太田先生から「アートとデザインの違い」「現代のデザインのミッション」について講義していただきました。

また、太田先生がこれまで手がけた特殊印刷製品を参考にしながら、「デザイナーの仕事の流れ」「クライアントについて」「デザインリサーチ」「コンセントについて」「デザインワーク」「プレゼンテーション」といったデザイン製品を生み出すまでの流れと考え方や心構えなどを丁寧に話していただきました。社会で活躍するデザイナーからデザイナーの役割と可能性について直接学ぶことができる環境は、本校の生徒たちが将来の目標に向かっていく原動力になっています。

